

材料ニ御充被下度本邦ニテモ如是發見ヲ致度モノニ御坐候

オーストリアノ水銀山 同國イデリアノ水銀山ハ千四百九十七年ニ發見シ千五百八十年以來開發セシモノニシテ現今スベイン及ピカリホルニアノ水銀山ニ亞キテ最モ廣大ナルモノナリ、イドリヤノ外尙ホセントアンナ及ピリツタイ地方ニモ多少ノ水銀產出ス即チ千八百八十九年ニ於テ其三鑛山ヨリ產出セシ水銀鑛(硫化水銀)ノ總額ハ七十三萬三千九百五十二、メートルセントネル(一)メートルセントネルハニ相當ス(二)キログラムニ相當スニシテ其價ハ八十五萬〇〇五十二、フロレン(一)フロレンハ凡ソナリ此總額ノ内九十二、五九、ベルセント(一)ハイドリアヨリ五四八、ベルセント(二)ハセントアンナヨリ一、九三、ベルセントハリツタイヨリ產出セリ又水銀ノ總額ハ五千六百六十六、一八、メートルセント(一)ニシテ其價ハ百五十三萬七千〇十五、フロレン(一)ナリ此内九十三、一四、ベルセント(一)ハイドリヤノ產額ニシテ其價ハ百四十三萬〇百三十八、フロレン(一)ナリ又同年右三ヶ所ノ鑛山ニ於テ使用セシ職工ハ總計千二百二十人ニシテ内男千〇七十七人女七十五人少年者六十八人ナリト云フ

○長崎水道ノ落成

世間ニ評判ノ高カリシ長崎水道工事ハ同市中反對論者ノ多カリシ爲メ計畫ノ后數年間起工ノ運ニ至ラサリシカ去ル明治廿貳年三月漸ク工ヲ起シ以來工程非常ニ拙取リ本年二月無事ニ竣工シ實地ノ試驗上揮テ好結果ヲ得タルヲ以テ本月十五日ヲトシ盛大ナル開通式ヲ舉ケラル、筈ナリシニ露國皇太子殿下不慮ノ御遭難ニ付キ延期シ直ニ給水ヲ始メラレタル由因ニ記ス該工事ハ本會正員工學士吉村長策氏カ監督シ准員石黒弘毅氏一部工事ヲ担当セラレ其計畫ノ大要ハ市街ヲ去ル二哩ナル上長崎村字本河内郷ノ谷間ニ水

面積貳万坪水深六拾尺ノ一大貯水池ヲ築造シ凡ソ九千万我倫ノ水ヲ貯溜シ其下ニ築造セル三箇ノ濾水池ヲ以テ濾過シタル水ヲ配水池ト稱シ煉化石造ノ暗室内ニ凡一日分ノ要量ヲ貯ヘ置キ量水計ニテ計量シ鐵管ヲ以テ日本人市街并ニ外國人居留地ノ全体ニ給水スル仕組ナリ給水地ノ現在人口ハ四万五千人ナルカ將來六万人ニ増加スルモ差支ナキ計畫ニテ一人一日ノ給水量ハ貳拾我倫ノ豫算ナリ

工費豫算ハ三拾万圓ナルガ實費ハ未ダ精算前ナレモ凡貳拾八万圓ニシテ給水地一人ニ付四圓七錢弱ノ割ナリト

○質問 會員ヨリ左ノ質問セアリタルヲ以テ御承知ノ方ハ工學會事務所ヘ向ケ至急御答有之度候(1) 歐米諸國ニ於テノトブツト唱ヘ職工ノ勤惰賞罰等ヲ記載シタルモノアル由ニ付右記事體載ヲ問フ(曲田成) (2) 石綿ノ用途本邦一ケ年ノ需用高ト需用地方及一噸ノ代價ヲ問フ(高橋昇三)

○特許明細書摘要

布帛織物精製用噴霧器械

新潟縣 瀨谷 古東京府 中井 彌太郎 特許 號一五二
明治十九年三月廿五日
特許年限十五年

此發明ハ布帛ニ光澤ヲ附與スル爲メ水霧ヲ施シ或ハ染色ノ添劑及ヒ糊水等ヲ布帛面ニ撒布スルニ使用スヘキ器械ニシテ之ヲ以テ水霧ヲ噴出セシムルニハ先ツ水槽(ホ)内ニ清水糊水若クハ添劑ヲ盛り而テ起動車(イ)ヲ回轉スレハ滑車(ロ)ヨリ(ハ)ニ帶革ニ籍リテ運轉ヲ傳ヘ長圓筒(チ)内ノ排氣器(ニ)旋轉スコレニヨリテ筒内ノ空氣逼迫セラレ筒ノ前面ナル小孔ヨリ噴出シ水槽(ホ)ノ上面ニ並列

